



株式会社 F Cホールディングス

6542 東証スタンダード

# 2024年6月期 決算説明資料

基本は技術

代表取締役社長 福島 宏治

# 目次

## 前段 当社グループの事業・編成・市場環境等

### 1. 2024年6月期決算報告

PL・BS・CF

戦略的投資 投資進捗と主な内容

主要事業実績紹介

### 2. 2025年6月期計画

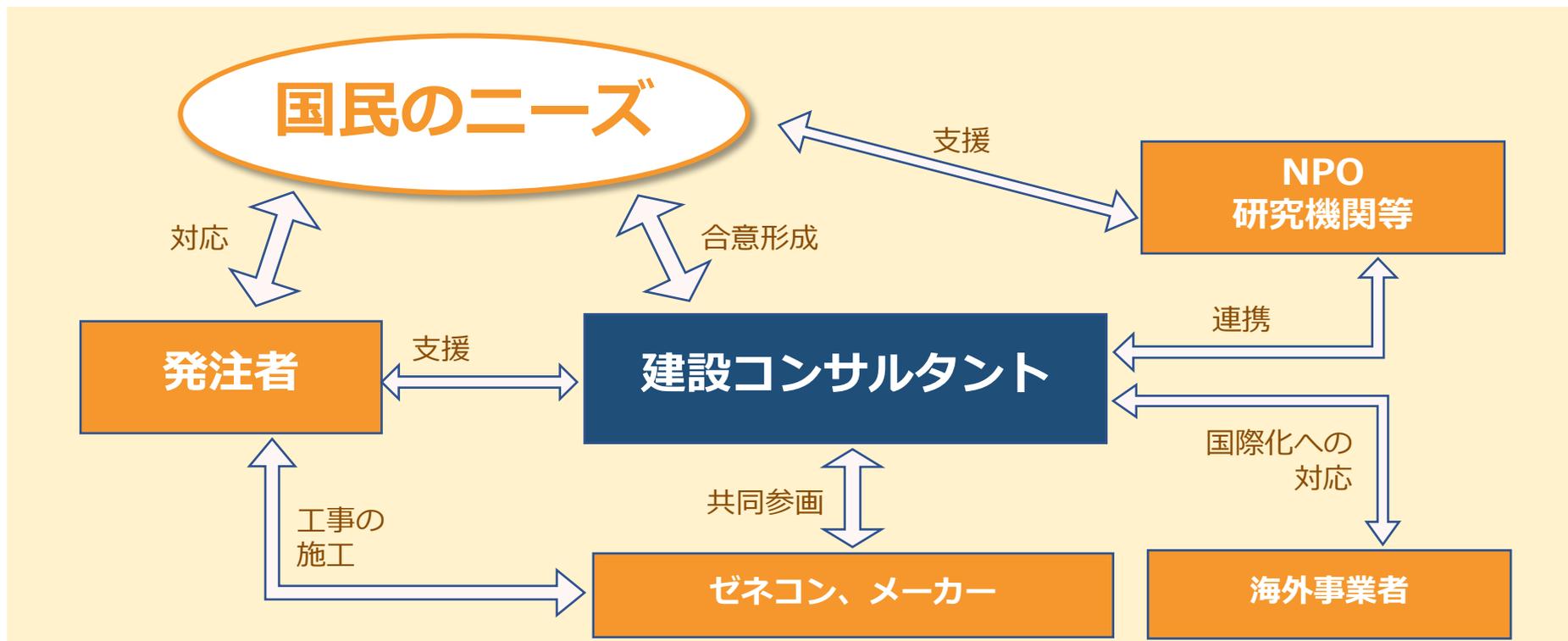
計画値・株主還元施策

具体の成長戦略

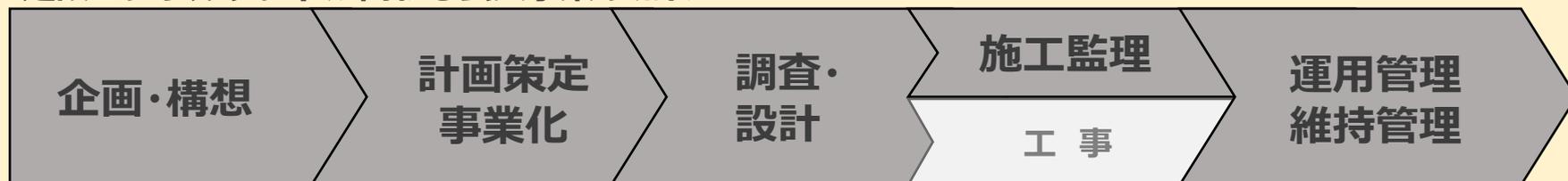
## 【参考資料】グループ会社概要

# 主たる事業の概観

## 建設コンサルタント事業の全体像



### 建設コンサルタントが関わる公共事業の流れ



# 当社グループの編制

- 持株会社 株式会社FCホールディングス 資本金：4億円  
上場市場：東証スタンダード（証券コード6542）
- 主要事業：建設コンサルタント事業（サービス業分類） （1949年3月創業：75周年）
- グループ会社数：10社（連結決算対象法人7社）
- 国内主要7拠点、海外2拠点 事業場総数31
- 従業員数：グループ正社員413名（他契約社員126名）

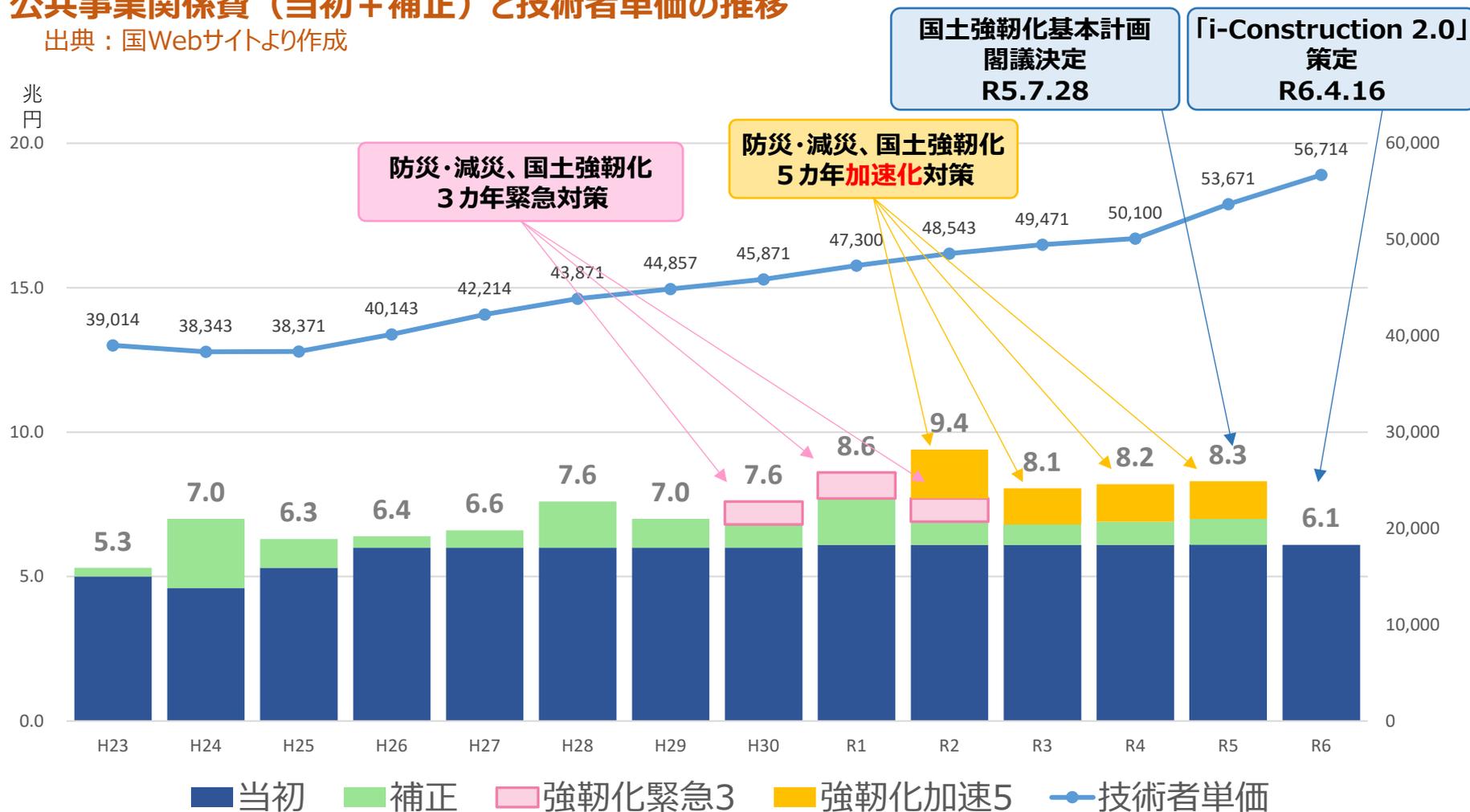


# 市場動向 国内公共投資、技術者単価

国内公共投資市場は安定的な予算が持続、技術者単価も過去最高水準に回復

## 公共事業関係費（当初＋補正）と技術者単価の推移

出典：国Webサイトより作成



# 中期経営計画①：経営計画のキーワードは「再定義」

第5次中期経営計画 2022年7月～2028年6月（6年間）

Redefinition 「再定義」（前半3期のキーワード）

Strong Culture  
「基本は技術」

経営理念

新しい価値の創造により**社会の持続的発展**に貢献します

Mission

目指す姿

1. 我々は高い技術力を基本とした事業活動で**顧客満足**を達成します
2. 上質な顧客価値の創造により**利益**を生み社会と株主に対する責任を果たします
3. 全従業員が仕事に誇りをもち仕事を通じて**人間的成長と幸福**を達成します

Vision

行動指針

1. 多様な分野の専門技術と連携し社会課題の解決に向けて**挑戦**を続ける
2. 健全で透明性の高い**誠実な経営**を持続する

Rule

Founder's Consultants Holdings Inc.

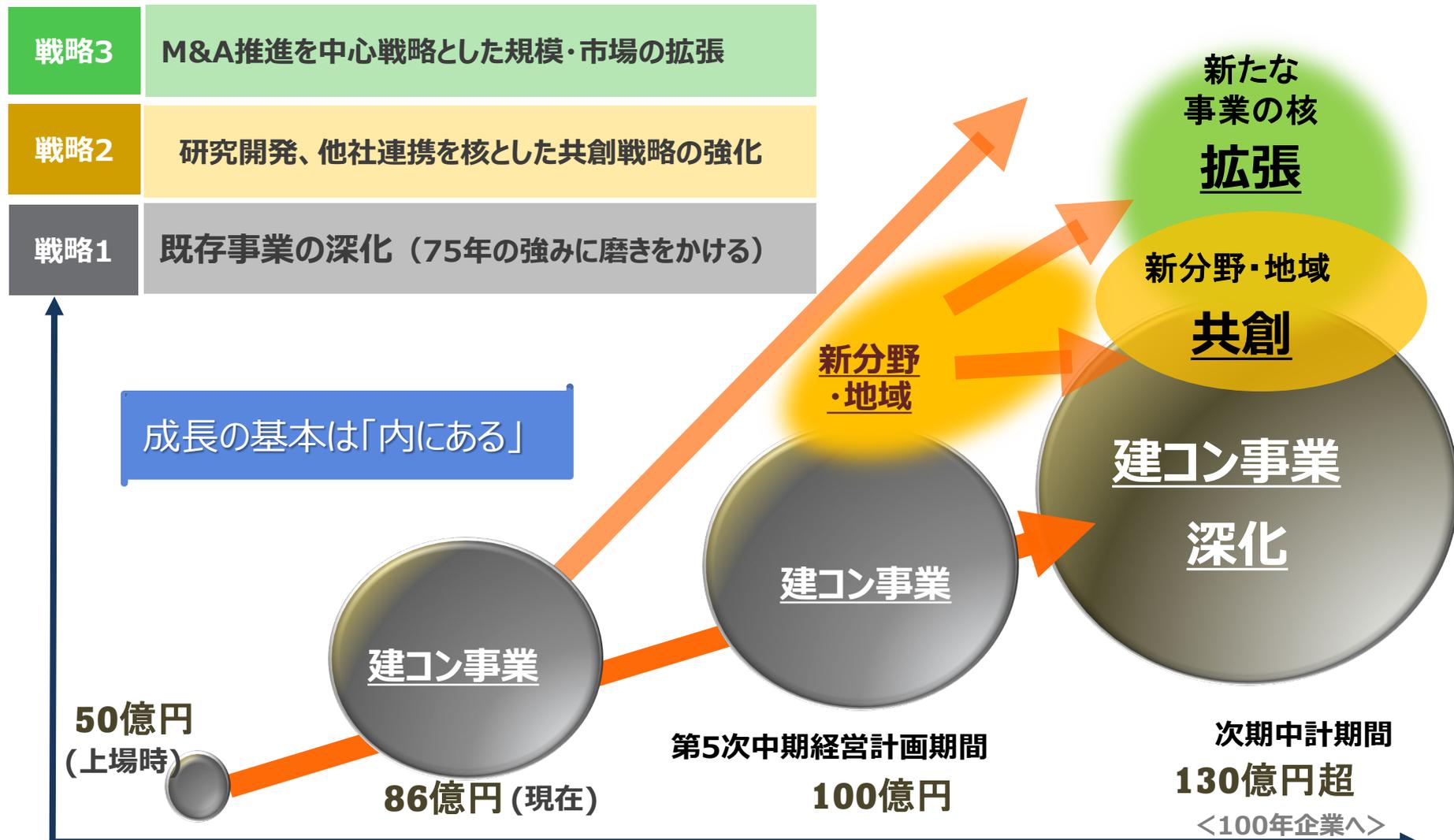
FCホールディングス

新しい価値を創造する専門家集団

【2025年に上場30周年】  
企業理念にそって、組織、  
ひと、働き方、事業、戦略全  
般の「再定義」をすすめ100年  
企業へ進化する

# 中期経営計画②：目指すべき方向性

高収益性の維持 & 共創 & 拡張（規模拡大）



# 2024/06期 決算報告① PL

総受注量は増加、売上高、営業・経常利益は前期未達、のれんの一括減損を実施

	FY2023 (百万円)	FY2024 (百万円)	増減	
			(百万円)	(%)
総受注高	14,043	14,099	55	0.4
(翌期への繰越残高)	5,476	5,572	95	1.8
売上高	8,566	8,526	△39	△0.5
営業利益	1,194	1,135	△59	△5.0
経常利益	1,202	1,135	△66	△5.6
特別利益	8	220	212	2702.9
特別損失	-	192	192	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	808	670	△138	△17.0

※本表では表示桁未満の端数調整があります

# 2024/06期 決算報告② 期中受注・売上高

国内期中受注高は減少、売上高も微減、海外受注高は回復

## ◆建設コンサルタント事業の国内外別 売上高等 (百万円)

		FY2023	FY2024	増減
国内	受注高 (期中受注)	8,756	7,988	△767
	売上高	7,985	7,934	△51
海外	受注高 (期中受注)	289	634	344
	売上高	581	592	11

◆前期からの繰越業務量もあり総業務量は確保したが、国内期中受注量は減少

◇売上高も若干減少

◆海外期中受注高は回復

◇売上高も若干増加

## ◆分野別 売上高 (百万円)

	FY2022	FY2023	FY2024
社会インフラ、防災	3,989	4,181	4,230
環境、都市・地域創生	1,726	1,424	1,425
モビリティ形成	2,823	2,960	2,871
合計	8,539	8,566	8,526

◆分野別売上高に大きな変動はない

# 2024/06期 決算報告③ BS

健全な財務水準を継続、期末無借金化達成（持株会向け債務保証あり）

科 目	FY2023	FY2024	対 前期比
<b>資産の部</b>	<b>9,021</b>	<b>9,284</b>	<b>262</b>
流動資産	3,868	4,274	406
現金及び預金	1,630	1,723	93
その他	2,238	2,551	313
固定資産	5,153	5,009	△143
有形固定資産	4,012	4,152	139
無形固定資産	269	42	△226
その他	872	814	△57
<b>負債の部</b>	<b>2,159</b>	<b>1,755</b>	<b>△404</b>
流動負債	1,856	1,465	△391
短期借入金	650	-	△650
その他	1,206	1,465	258
固定負債	302	289	△13
長期借入金	-	(注) 142	142
その他	302	147	△155
<b>純資産の部</b>	<b>6,862</b>	<b>7,529</b>	<b>666</b>
資本金	400	400	0
その他剰余金	6,462	7,129	666
<b>総 資 産</b>	<b>9,021</b>	<b>9,284</b>	<b>262</b>

(単位：百万円)

流動比率291.7%

FY2022	FY2023	FY2024
195.1%	208.4%	291.7%

固定比率66.5%

FY2022	FY2023	FY2024
84.4%	75.1%	66.5%

自己資本比率81.1%

FY2022	FY2023	FY2024
67.6%	76.1%	81.1%

(注) 従業員持株会支援信託ESOP導入に伴う信託口に対する債務保証額142百万円（連結財規）

# 2024/06期 決算報告④ CF

## 計画どおりのフロー状況を報告

- ◆ 営業CF：計画どおりに推移、のれんの評価はキャッシュには影響無し
- ◆ 投資CF：コンピュータ機器等の生産設備更新投資、再定義の一環としての保険の見直し
- ◆ 財務CF：計画どおりに推移、東京社屋取得資金の返済（完済）

(単位：百万円)

	FY2022	FY2023	FY2024
税引前当期純利益	1,237	1,210	1,162
営業キャッシュ・フロー	648	619	717
投資キャッシュ・フロー	△143	△161	36
財務キャッシュ・フロー	△750	△785	△661
現金及び現金同等物の増減額	△245	△327	93
現金及び現金同等物の期末残高	1,957	1,630	1,723

# 2024/06期 決算報告⑤ ポイント

## のれんの一括全部償却 と 戦略的投資の強化

**連結財務諸表：のれん減損評価損（183百万円）**

**個別財務諸表：子会社株式評価損（405百万円）**

対象子会社：(株)地球システム科学（海外事業）

①「のれん」残高の一括全部償却 183百万円

○受注業務の工期遅延リスクを保守的に再評価

・展開地域の政情不安定（スーダン国、バングラデシュ国）

②同社株式の時価純資産額までの評価減 405百万円

◆本件により、ROEは一時的に9.3%（前期は12.5%）に低下

**期末借入金ゼロ**

**営業キャッシュフローは7億円の水準**

**期末配当金は、期首公約配当に5円加算して1株30円**

**戦略的投資の強化：後段で個別説明**

# 戦略的投資① 2024.6月期投資進捗と主な内容

計画に準じて、成長に向けた積極的な投資を推進

	投資対象	効果 遅行度	予算枠	2024.6期 投資額	2024.6期投資の主な内容
営業CF +調達	人的資本	～6年	5億円	1.0億円	・新卒/キャリア採用強化 ・リスキリング・労務環境整備 等
	知的資本	～3年	5億円	2.4億円	・研究開発・特許出願 ・グループ内共創・グループ外共創 等
	生産資本	～1年			・DX推進 ・基幹システム高度・省力化 等
	CG資本	～1年	—	—	・内部統制・IR活動強化 等
自己資本	拡張資本	～6年	20億円	4.5億円	・資本提携 ・M&A戦略検討
	財務資本		短期 25億円	—	・金融機関からの期中最大調達実績

# 戦略的投資② 人的資本投資

人的資本に重点投資、採用・育成・職場環境の様々な面で効果が発現

投資対象	効果遅行度	予算枠	投資額	2024.6期投資の主な内容
人的資本	～6年	5億円	1.0億円	・新卒/キャリア採用強化 ・リスキリング・職場環境整備 等

## 【 主な取り組み 】

## 【 主な成果 】

### ① 採用

- **新卒採用・中途採用強化**  
インターンシップ、広報強化、紹介サービス活用等
- **人材確保に係る各種制度の整備**  
アルムナイ制度、内発的創業支援

- **新卒採用**  
今期 **22名**  
⇒ 来期目標：同数以上
- **中途採用**  
今期 **7名**  
⇒ 来期目標：同数以上



### ② 育成

- **多様な社内研修制度・実践**  
リーダーシップ、専門技術、DX等
- **資格取得支援制度の充実**  
資格取得時の手当・一時金支給・勉強会開催等

- **技術士資格取得率 99.5%**  
※技術士数(延数)/技術者数  
**取得率 第3位**  
※建コン部門売上上位50社比較  
(日経コンストラクション 2024年4月号より)

### ③ 環境

- **多様な報酬制度の充実**  
給与UP、ESOP導入、DB・DCの充実
- **多様で柔軟な就業制度・運用の充実**  
育児休暇制度、地域限定制度

- **給与水準**  
対前期比 **+4%** ⇒ 来期(計画) +5%
- **従業員持ち株会参加率 43.1%\*** ※管理職以上対象
- **女性総合職採用割合 35%**

# 戦略的投資③ 知的資本投資・生産資本投資

知的資本投資による成長基盤の強化／生産資本投資により生産効率を底上げ

投資対象	効果遅行度	予算枠	投資額	2024.6期投資の主な内容
知的資本	～3年	5億円	2.4億円	・特許出願 ・グループ内外共創等
生産資本	～1年			・DX推進 ・基幹システム高度・省力化

【 主な取り組み 】

【 主な成果 】

知的資本

## ■ 研究開発促進

(株)SVI研究所における研究開発促進を支援

## ■ グループ内共創

知財集約法人の設立

## ■ グループ外共創

外部企業との連携・技術連携の促進

## ● (株)SVI研究所による特許出願

「対話型行動支援情報推薦システム」特許出願

## ● ITS (株)インフラ・テックソリューションズ) 設立

グループ内企業の知財連携による  
インフラメンテ法人を設立

## ● (株)ユーカリヤ、(株)RYODEN等と業務提携

## ● 大成ジオテック(株)と

下水道分野に関する共同研究協定



▲ITSロゴ

生産資本

## ■ DX推進室の強化

ソフト開発、機器の導入等による生産効率化

## ■ 管理基幹システムの高度・省力化

社内業務・処理の省力化・効率化の推進

## ● 時間生産性の向上

人時間あたり付加価値

【昨期】13.9千円/人・h⇒【今期】13.5千円/人・h

新卒22名増にもかかわらず生産性は維持

# 戦略的投資④ CG資本投資・拡張資本投資

## CG資本投資による透明性・リスク管理強化／資本提携による事業領域の拡大

投資対象	効果進行度	予算枠	投資額	2024.6期投資の主な内容
CG資本	～1年	—	—	・内部統制強化 ・IR活動強化
拡張資本	～6年	20億円	4.5億円	・資本提携 ・M&A戦略検討

### 【 主な取り組み 】

### 【 主な成果 】

#### CG資本投資

##### ■ 内部統制強化

自律的システム整備、  
社外窓口、計画説明会等

##### ■ IR/SR

IR活動の強化

##### ● 投資家コミュニケーション強化

- ・定例IR（2Q・4Q）に加え3Q説明動画配信
- ・IRフェア出展  
（日経IR個人投資家フェア2024）

##### ● PR活動強化

- ・HPリニューアル・情報発信強化
- ・資本コストや株価を意識した  
経営内容の開示

▼リニューアルしたHP



#### 拡張資本

##### ■ 資本提携

積極的な資本提携による事業領域の拡大

##### ■ M&A戦略検討

自社のスキル・分野・エリアマップを再整理  
⇒M&A戦略を検討中

##### ● 資本提携の実施

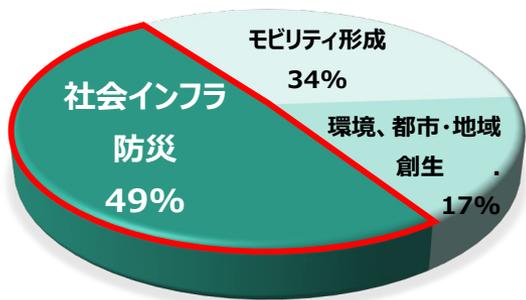
- ・複数社への出資による事業連携、領域拡大

##### ● 複数業界・企業との意見交換を実施

- ・持ち込み案件を含め、複数の業界・企業との意見交換を実施し、知見を蓄積中

# 主要事業実績紹介①

## 社会インフラ防災事業



令和4年度大津熊本道路(合志IC～西合志IC)道路詳細設計業務  
(熊本河川国道事務所)

令和4年度中九州横断道路計画  
検討業務(大分河川国道事務所)



○TSMC北側の大津熊本道路については、前年に引き続き  
令和6年度の詳細設計業務を受注  
○熊本空港アクセス鉄道計画に向けての環境調査の実施



# 主要事業実績紹介②

## モビリティ形成事業

### ■北陸新幹線（金沢・敦賀間） 建設工事への貢献

列車走行時の走行安全性調査等による品質調査

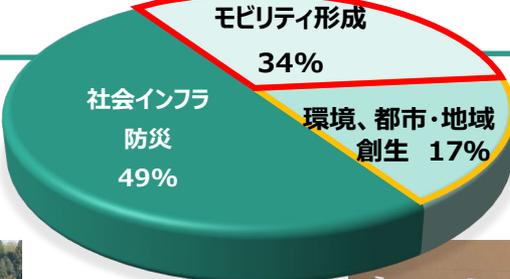
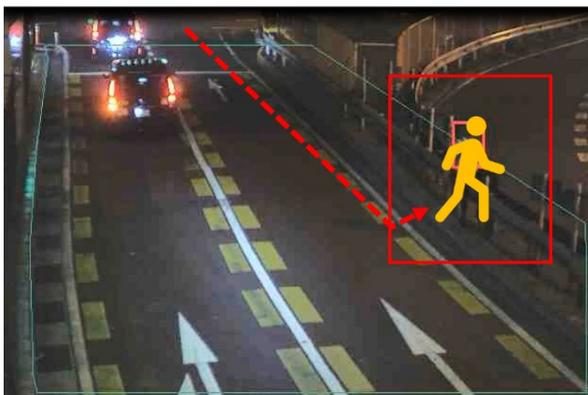


感謝状  
鉄建機構

### ■歩行者誤侵入・逆走等対策検討

検知システムの画像をもとに歩行者の立入分析

感謝状  
首都高



## 環境、都市・地域創生事業

### ■令和5年度中国圏広域地方計画検討業務

中国圏広域地方計画シンポジウム2024.3月 500名



表彰  
国交省

### ■ベトナム初の砂防ダム建設の起工式(2024.4月)

災害の頻発するベトナムで、取り組みの遅れている土砂災害への総合的な対策の計画・実施を支援



△起工式の様子



△建設を予定する透過型砂防ダム

# 2025/6月期 売上・利益等の計画

2024年6月期と同水準の期首計画（期中受注等の動向をみた上で見直し予定）

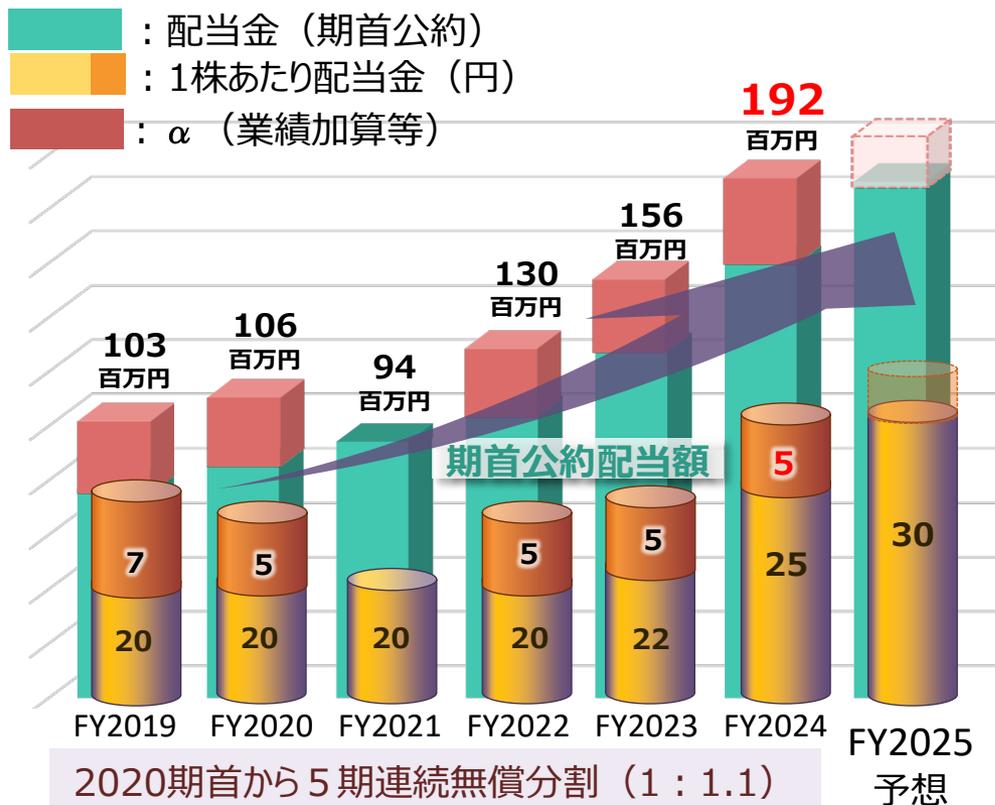
(単位：百万円)	FY2023実績	FY2024実績	FY2025計画	対前期増減
売上高	8,566	8,526	<b>8,800</b>	274
営業利益	1,194	1,135	<b>1,200</b>	65
経常利益	1,202	1,135	<b>1,200</b>	65
当期純利益	808	670	<b>850</b>	180
配当金	27円 (22+5円)	30円 (25+5円)	<b>30円</b>	±0
営業利益率	13.9%	13.3%	<b>13.6%</b>	0.3%
ROE	12.5%	9.3%	<b>10%以上</b>	—

# 2025/6月期 株主還元施策

## 期首公約配当の増額 (25円を30円に増額)

### ◆金銭配当の基本的な考え方は継続

#### ◆配当金の推移



### 株主還元施策の具体

#### ■ 期首計画時点での配当金の増額

(FY2024) 25円

⇒ (FY2025) **30**円 (+5円)

#### ■ 自社株買い

市場流動性を最優先

そのうえで、必要に応じて自社株買いを検討

⇒ 市場動向を注視

# PBR向上施策

PBR $\geq$ 1.0に向けて、ROE10%以上を維持しつつ、PER向上施策の強化

## 目標指標（成長性・効率性）

売上高成長率	5%/年平均
営業利益率	10%以上
ROE	10%以上
売上高・研究開発費率	5%以上
株主総利回り	中長期的な向上

$$\text{ROE} \times \text{PER} = \text{PBR}$$

自己資本利益率      株価収益率      株価純資産倍率

高いROEの持続とPERの向上

## 高水準ROE維持施策

### ■ 人的資本投資

採用・育成の強化、職場環境整備で収益力向上

### ■ 知的資本投資

特許、共創戦略等で成長基盤の強化

### ■ 生産資本投資

DX推進、社内システム高度化等で、生産効率の向上

### ■ 拡張資本投資

資本提携・MA戦略の推進による事業領域拡大、グループ経営強化による収益力・効率性の向上

## PER向上施策

### ■ IR/PR強化

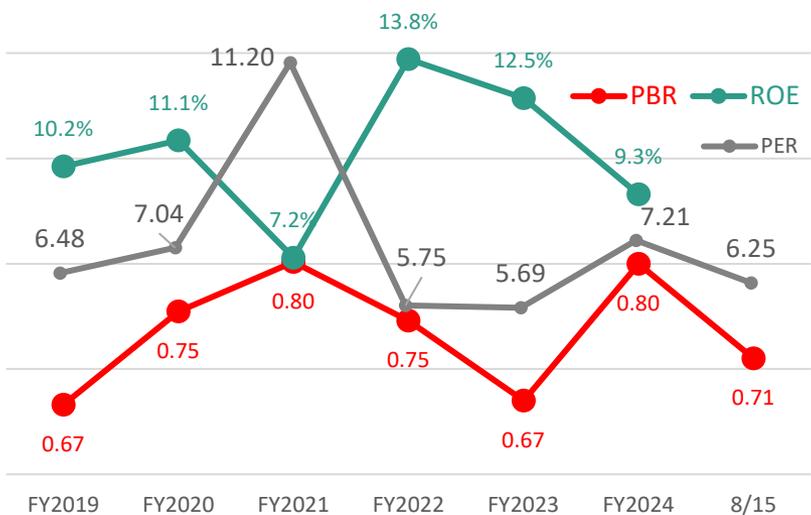
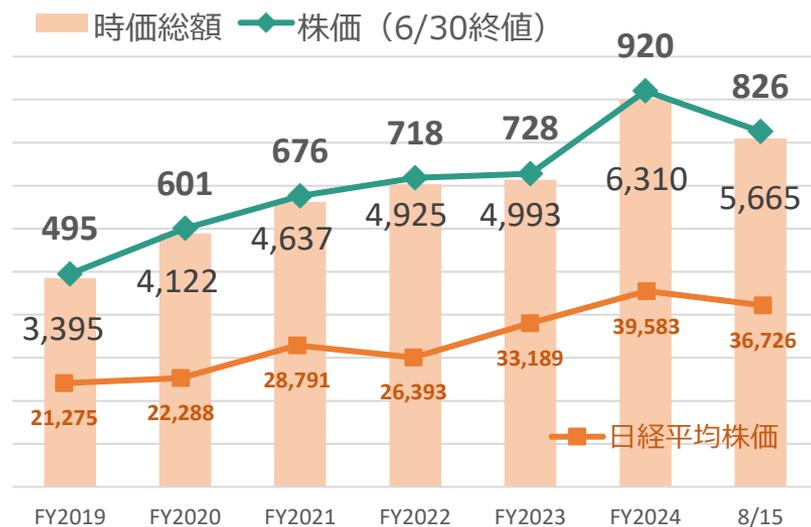
投資家コミュニケーション、積極的な広報・情報提供により企業認知度の向上

### ■ 株主還元施策

株主還元施策を強化することで、株主価値向上、株主とのエンゲージメント施策の強化

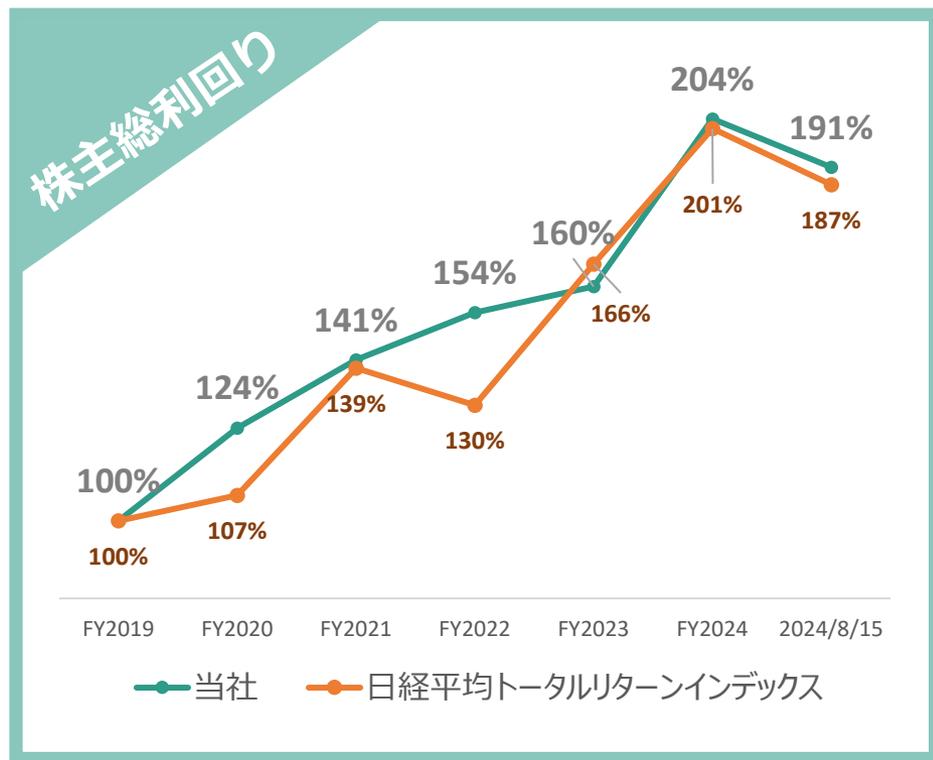
# 株価等の推移

ROEは「のれんの一括減損」を受けて9.3%、PBRはいまだ1.0倍未満の水準



## FY2025目標水準

- ① PBR 1倍以上
  - ② PER 10倍以上
- ※ 成長投資の拡大、IR・PRの強化、  
配当還元と株式価値向上施策の検討



# 成長戦略① インフラメンテータータルサービス分野

急増するインフラ施設の老朽化対策市場に対し、

(株)インフラ・テックソリューションズ(ITS)を2024.3月に設立

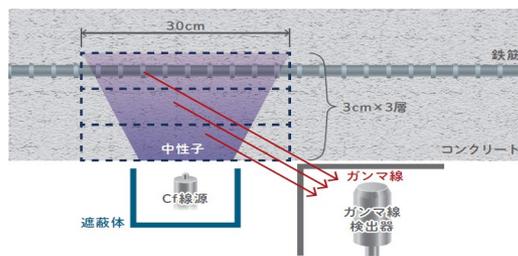
体制整備：東日本帯をITS、西日本帯をITS西日本、四国地域を環境防災での体制整備

活動内容：能登地震の構造物の杭の健全度調査(オーリス)実施

## (1)非破壊検査

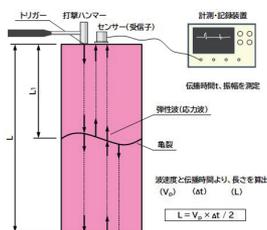
①完全非破壊塩分計測技術RANS- $\mu$ の実用化及び展開

※中性子をコンクリートに照射し、  
ガンマ線を測定し、塩分濃度を推計



②オーリス・ミラ等の非破壊検査

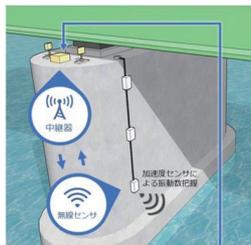
※地震などで杭が破断しているかを、掘削することなく、  
形状寸法や内部の損傷位置を検知



## (2)センサーでのモニタリング技術

※加速度センサーの固有振動数をリアルタイムで計測し、  
クラウドで遠隔監視

※橋梁の洗堀監視：点検支援技術性能カタログ掲載



国土交通省イノベーション創出推進事業  
(SBIR) 採択 (2024.1)

当社子会社が参画したランズビューが採択

インフラメンテナンス大賞  
【国土交通大臣賞】(2024.1)

理化学研究所等とともに実用化に向けた  
取り組みをしている非破壊計測技術

インフラ  
メンテナンス  
大賞



△インフラメンテナンス大賞表彰式

1月18日首相官邸で開催。齊藤国土交通大臣(写真真ん中)より表彰

T-RANS賞 (2024.5)

# 成長戦略② ソリューション分野

## Project Linksの開始(2024.7月)

NEW!

国土交通省の国土交通分野のデータ整備・活用・オープンデータ化プロジェクト。当社は、Project Partners

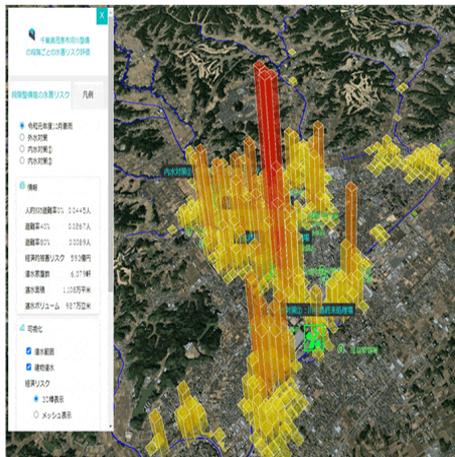
## (株)ユーキャリアとの業務提携

NEW!

(株)ユーキャリア：東大発スタートアップ  
・デジタルツイン構造プラットフォーム構築事業  
・『Re:Earth』や、これを基盤とする3D都市モデルを展開  
・Project Linksで中心的な活動を実施

<提携目的・内容>

- ① Re:earth等を活用した業務受注活動、商品開発
- ② スマートシティ等に活用するデータプラットフォームの構築



## 日本電気株式会社 (NEC)と 防災DXサービス開発で業務提携

2025年4月のサービスインを目指す  
・3D都市モデルを活用した水害・津波防災教育コンテンツ  
・高度広域防災プラットフォームの構築

## 「対話型行動支援情報推薦システム」に 関する特許を出願 (2024.4月)

生成AIにより、求める情報を提供することで行動を支援するシステム

## 仮想シミュレータを用いた 交通関連サービス開始 (2024.6月)

NEW!

株式会社RYODEN、株式会社ヴィッツと、仮想空間シミュレータを用いた交通安全対策や自動運転に関する課題解決など交通関連サービスの提供

# 成長戦略③ 環境創生分野

## カンボジアでカシューナッツ加工工場が竣工（2024年6月）

### ■当社が出資する事業会社が、カシューナッツ加工事業およびバイオマス開発事業の本格稼働を開始

- ・敷地面積：7,948㎡、建物面積：2,181㎡
- ・生産能力：約1,500トン/年（原材料ベース）
- ・従業員：50名

NEW!

名誉賞  
カンボジア

### ■カンボジア農林水産省農業産業局主催の『名誉賞』を受賞



日本経済新聞（6月24日記事）「カンボジア、カシューナッツ輸送大国へ 加工も自前で」

【記載内容】新工場の稼働は、世界一の「カシューナッツ王国」をめざす第一歩になる。

## 環境共生サイト(OECM)認定支援サービス開始

### ■響灘ビオトープがOECM認定

当社子会社が参加する響灘ビオトープ共同事業体が指定管理者を務める「響灘ビオトープ」（北九州市若松区）が、国の『自然共生サイト』に認定（2023.10）

### ■環境共生支援業務をスタート

自然関連情報開示フレームワークTNFDへの展開も視野

## 「北九州市SDGs未来都市アワード」にてSDGs大賞を受賞

### ■受賞名：「SDGs大賞」（市民部門）

### ■活動名：ホップを通じた地域SDGs事業

当社子会社（EP,FCC）が参加する響灘ビオトープ共同事業体（響灘JV）が主体となった、ホップを活用した地域循環型の取り組みの推進が評価されました。

SDGs  
北九州市

# 成長戦略④《新》水道インフラソリューション分野

当社研究機関SVIで、この分野での複数の研究・商品群の開発完了  
 →今期、この実装や市場展開に向けて、活動強化(今期営業専属部隊組成)

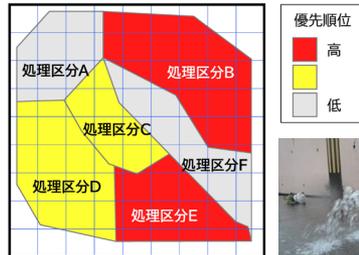
## ① エリア判定

AIによる雨水時侵入水解析予測

近年のゲリラ豪雨で雨天時浸入水の課題が一層深刻化  
 現地調査を行わずに、簡易に雨天時浸入水を解析



雨水浸入水が多いエリアを特定。  
 →集中的に点検・対策箇所を選定



簡易評価①  
 雨水判定解析 (エリア判定)

## ② 管路区間判定

AI技術を活用して下水道管路の損傷状況を予測



速やかに  
 対策が必要な

緊急度Ⅰを予想

緊急度Ⅰの再現率  
 鉄筋コンクリー 100%  
 陶管 97%

▽劣化予測イメージ



簡易評価②  
 管路損傷予測 (区間判定)

## ③ 管路損傷判定

AI技術を活用した下水道損傷検出

下水道管路を学習させたAIで、  
 損傷箇所を自動で抽出・診断



今期の活動計画  
 ウォーターPPPへの  
 市場展開

FCC営業開発室(新設)による市場開発

管路調査  
 管路損傷選定 (損傷地点判定)

工事

# 成長戦略⑤ 《新》事業マネジメント分野

## 『事業マネジメント分野』を、新たな成長戦略として事業展開

当社グループのこれまでの成長戦略の技術、ノウハウを活用し、『事業マネジメント分野』への展開

**インフラメンテナンストータルサービス**  
センサー、AI技術を用いたモニタリングの開発

### 次世代ソリューション分野

各種シミュレーションによる、インフラ施設に評価・計画等によるソリューション開発

### 公共・民間施設への環境創生分野

地域全体の持続的発展のためのマネジメント  
民間連携による事業組成

### 水道インフラソリューション分野

AI等を用いたインフラ施設の解析・評価技術  
※SVI研究所で重点研究開発テーマ

## 事業 マ ネ ジ メ ン ト 分 野

### 社会的なニーズ:PPP/PFI推進

- ・ウオーターPPP。
- ・包括管理。地域インフラ群再生戦略マネジメント(群マネ)

### 事業マネジメント展開の方針

- ①最新のセンサー等を用いたインフラ施設のモニタリング
- ②AI及びソリューション等を用いて、インフラ施設の最適なマネジメント手法の提案
- ③専門技術を持つ民間企業や、地域の担い手になっている企業との連携。インフラを見守る組織の組成
- ④交通インフラの活用等による地域活性化施策との組合せ

### パークPFI参画(2023.8月)

民間事業者連合の構成員として  
沖縄初のパークPFI事業に参画  
プロジェクトマネージャー、ランドスケープ企画・  
設計を担当

### 大成ジオテックと共同研究協定 (2024.8月)

地理空間情報技術を持つ大成ジオテックと協定  
上下水道分野の官民連携事業であるウオーターPPPへの参入



NEW!

# 【Topics】CGと戦略推進体制の強化

社外独立役員を増員 グループ経営企画・運営管理体制の再編成

## 社外独立役員を増員 1名（社外計4名体制へ）

- 法曹資格（弁護士）保有者を増員
  - ・法務、会計、税務、金融、4分野の専門家・経験者の体制へ強化

**集約強化：経営企画機能、財務・会計機能**

**再編強化：運営企画機能、総務管理機能**

- グループ横断経営企画室の設置（広報戦略機能を含む）
- 財務・会計機能のHD社への集約（グループ通算税制の一体的財務管理体制）
- 個社別 運営企画室、総務部の再配置と事務管理機能（FBN）の再編成

# 【参考資料】グループ会社概要①



## 株式会社 福山コンサルタント

全国4拠点での地域密着型の道路交通分野を中心に展開する建設コンサルタント

○道路交通分野売上高 9位 ○生産性:従業員一人当たり売上総利益 1位 売上上位50社比較  
(日経コンストラクション 2024年4月号より)

インフラマネジメント事業部

### 北九州市 恒見朽網線の供用(2024.5供用)

○北九州市門司方面への物流機能強化および北九州空港へのアクセス利便性向上路線

○計画設計で貢献

※北九州市公開資料より



交通・環境マネジメント事業部

### 宇都宮LRT

- ①R5開業した駅東側区間の整備効果
- ②駅西側区間延伸検討



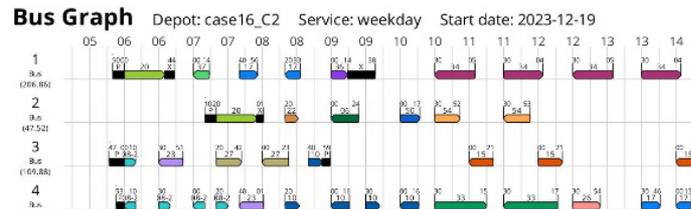
### 茨城県取手駅西口広場(2024.7供用)

駅前広場計画設計



### 秋田市 公共交通網再編業務

バス再編路線案、運行ダイヤ、車両数検討の効率化及び高度化に向けた検討(海外ツール適用)



# 【参考資料】グループ会社概要②

## 株式会社 地球システム科学

水資源開発、防災・環境、非破壊調査の海外業務を主体としたコンサルタント

### 基本理念

SDG'sの基本理念のもと、開発途上国における格差是正、貧困撲滅、基本インフラ整備、脆弱性の克服等を通じて、グローバル社会に貢献

### 生産活動の回復

コロナ渡航禁止、スーダン政情不安からの生産活動回復

(億円)

	前期	当期	伸び
受注高	2.9	6.3	2.19倍
繰越残高	8.9	9.3	1.04倍

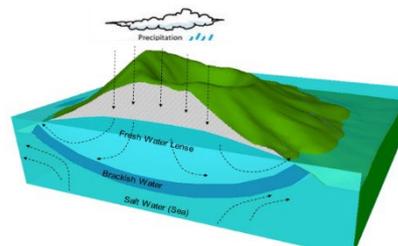


▲防災ガバナンス及び地方行政職員的能力強化（スリランカ国）

### 近年の主な取り組み

#### ◆水資源分野

- ・給水分野における技術支援と資金協力事業を通じた地域格差是正（コートジボアール国）
- ・安全な飲料水へのアクセスの確保（バングラデシュ国）
- ・地下水に依存する島しょ国における水資源管理と開発支援（タンザニア国）



▲島しょ国における水資源開発ポテンシャルの究明（タンザニア国）

#### ◆防災分野

- ・交通インフラの脆弱性を克服するための道路防災対策の推進（ボリビア国・ブータン国）
- ・防災計画の策定を通じたガバナンス強化と防災の主流化（メキシコ国・スリランカ国）
- ・土砂災害対策強化と砂防ダム建設（ベトナム国）

# 【参考資料】グループ会社概要③

## 株式会社 環境防災

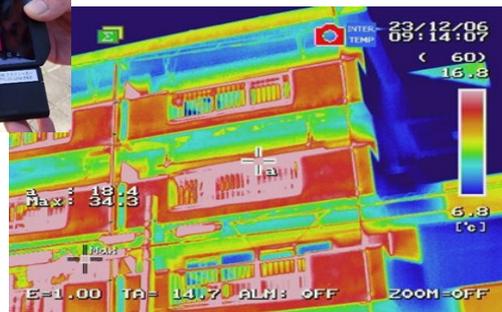


### 四国発の『環境と防災』の コンサルティングカンパニー

- 建設材料の試験・分析・登録規格数 四国1位  
(JNLA登録試験業者14規格)
- 環境コンサルタント受注 徳島県1位 (当社調べ)

### ■特定建築物の老朽化調査『集合住宅の外壁調査』

徳島市29棟759戸:赤外線調査と打診調査



UAV赤外線調査

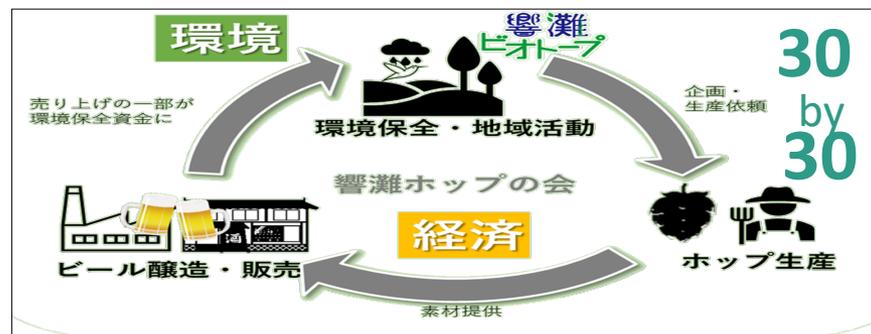
### ■県有施設の太陽光発電導入調査

- ・徳島県学校、公共施設等72施設
- ・実施内容:太陽光パネル配置計画

## 株式会社 エコプラン研究所

### 動植物系の環境調査技術を活用した 環境創生・保全ビジネス展開(官民)

- グリーンインフラ・ネットワークジャパン全国大会にて  
「優秀賞」受賞(2024.2月)
- 閣議決定2024.3月『生物多様性増進活動計画』  
⇒ネイチャーポジティブに向けた事業モデルの展開



## 株式会社 SVI研究所

グループ研究開発機能

## 株式会社 インフラ・テックソリューション

インフラメンテナンス事業展開

# アンケートのご協力をお願いします

今後の決算説明会の改善や、充実した情報提供の参考にさせていただきますので、率直なご意見をお聞かせください。

アンケートの回答時間は約5分です。

右QRコードを読み込んでいただきますと、アンケート回答URLへ移動します。



本日は、ご出席頂きましてありがとうございました。

**「基本は技術」**を企業集団の**「Strong Culture」**として、人々の  
**安全と安心を守り**

**社会的価値の高い企業体として持続的成長を図ってまいります。**

**引き続き、倍旧のご支援をよろしくお願い申し上げます。**



広報部長 フランジヨイス since1996

◆当プレゼンテーション資料は、株式会社FCホールディングスおよびそのグループ会社の戦略・経営計画など、歴史的事実でない「将来に関する見通し」を含んでおります。係る将来に関する見通しは、現時点において入手可能な期待・見積り・予想に基づいており、その性質上、これらの期待・見積り・予想はリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果、財務内容等は、係る将来に関する見通しにおいて明示的または黙示的に示される情報と大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。当社は、係る将来に関する見通しについて情報を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

◆当プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売却、販売、勧誘を目的とするものではありません。投資・その他のご判断にあたり当資料の内容に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、お願い申し上げます。

株式会社 FCホールディングス E-mail:ir@fchd.jp TEL:092-412-8300 FAX:092-412-8303